1頁 令和元年 8月16日 18時45分19秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価

所属長名 香村正志 担当者 杉浦庄太郎

所属 0001404010 区画图	隆 埋課事業官埋係		担	!当者	杉油灶太郎	
事務事業 02287 桜井区	区画整理事業特別会計繰出事務			話番号	0566-71-2246	
【基本情報】						
計画次数	02 第8次安城市総	合計画				
5 K の分類	003 経済					
項目(施策)	004 10都市基盤(市街地)				
施策の方針	005 地域拠点(名鉄	桜井駅周辺)の整	備促進			
事務事業	001 桜井区画整理事	業特別会計繰出事	務			
事業期間	平成11年度 ~ 令和 6年度	26 年間				
実施方法	直営					
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	中	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト			也方創生	
根拠法令等			1	,		
備考						
【事業分析】						
対象						
目的						
手段						

【コスト】 (単位:千円) 平成31年度 平成29年度 平成30年度 決算額 決算額 予算額 トータルコスト 619,137 699,227 693,434 事業費 618,192 698,282 692,489 国庫支出金 0 0 0 県支出金 0 0 0 506,000 地方債 389,329 429,125 その他 100,417 144,371 150,000 一般財源 128,446 124,786 36,489 人件費計 945 945 945 正規(人) 0.15 0.15 0.15 その他経費 0 0 0

安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業の事業費の一部を一般会計が負担し、資金収支の均衡を図ります。

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	一般会計から安城桜井	一般会計から安城桜井	一般会計から安城桜井
	駅周辺特定土地区画整	駅周辺特定土地区画整	駅周辺特定土地区画整
	理事業特別会計への繰	理事業特別会計への繰	理事業特別会計への繰
	り出し事務	り出し事務	り出し事務

事務内容

2頁 18時45分19秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価

所属 0001404010 区画整理課事業管理係

[]	三量評価】					値で段:実績値
	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成	31年度
7.	7.44.÷π/π \					
Į	<u>E性評価】</u> カテゴリ	並価の組上	1	基準		ランク
	<u> </u>	評価の観点				<u> </u>
	必安注	国・県・民間等との補 完性		ナー <u>ビスを行っていない</u> ナービスは不十分で、市で補完す	マル亜がちる	_
				<u>フーレスは小1ヵで、川で備元9</u> 目様のサービスを行っている	る必女小のも	1
1			3 国、光、民间争》。	可塚のサービスを打している		
						•
		──── 市が施行者に対し、行う^				
	<u> </u>	市民ニーズの有無	Na 事務です。 1 市民ニーズは充分に	 - ある		
	× 1×			<u>_の。</u> こより市民ニーズは低下している		
			3 市民ニーズはない		,	`_
2			2 112V - VIA/4V12)
		市が施行者に対し、行うへ	 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		I	
	<u>告巴</u> 有効性	目標に対する進捗状況		 目標どおりの進捗である		
	15W1±		2 目標を下回る進捗			
_			3 進捗はかなり遅れる			
3			<u> </u>			
	 理由					
	<u>対率性</u>	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や		里を上げている	
		の削減		事務改善に取り組んでいる	X E TI) CVIS	4
			5 717 6 121 17 17 18 7 1	事務改善にあまり取り組めていな	:61	1
4			3 338 3 72 3 17 18 3 1			
	理由	正確、迅速な事務処理に多	 号め、人件費削減を図ってい		•	
	公平性	事業規模・サービス水		 本等と比較して適正である。		
		準		本等と比較してあまり適正でない	٠	1
5			3 環境変化や他自治体	*等と比較して適正でない。		·
5						
	理由	事業計画における資金計画	画に基づき繰出金額を決定し	ています。		
['	次評価結果】					
事	業の方向性	維持・継続				
		事業計画における資金計画	正基づき事務を進めます。			
1)	欠コメント					
(400文字)					
	2 次評価結果】					
事	業の方向性	評価未実施				
		本事業においては、2次評	F価を実施していません。			
	欠コメント					
(400文字)					
		1				

3頁 令和元年 8月16日 18時45分19秒

平成30年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0001404010 区画整理課事業管理係 事務事業 02288

桜井区画整理事業債償還事務(元金・利子)

所属長名 香村正志 担当者 杉浦庄太郎 電話番号 0566-71-2246

【基本情報】				
計画次数	02 第 8 次安城	市総合計画		
5 Kの分類	003 経済			
項目(施策)	004 10都市基	盤(市街地)		
施策の方針	005 地域拠点(名鉄桜井駅周辺)の整備	情促進	
事務事業		理事業債償還事務(元金		
		•		
事業期間	平成11年度 ~ 令和 69	年度 26 年間		
実施方法	直営			
会計区分	桜井区画整理特会	事業区分	義務的性質	質別費目
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		方創生
根拠法令等		1		
備考				
【事業分析】				
対象				
目的				
手段				
事務内容				を除いた地方負担額のうち、不足 ・利子を償還計画に基づき償還し
【コスト】				(単位:千円)
1-1-1-1	Ŋ	P成29年度	 平成30年度	
		+成294 <u>度</u> 決算額		
トータルコスト				
「車米弗		224,594	218,4	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		224,594	218,411	210,514
事	業費	223,649	217,466	209,569
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	223,649	217,466	209,569
人	件費計	945	945	945
	正規(人)	0.15	0.15	0.15
その他	経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	地方債からの不足財源	地方債からの不足財源	地方債からの不足財源
	の借り入れ、及び償還	の借り入れ、及び償還	の借り入れ、及び償還
	計画に基づいた元金・	計画に基づいた元金・	計画に基づいた元金・
	利子の償還事務	利子の償還事務	利子の償還事務

4頁 18時45分19秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価

所属 0001404010 区画整理課事業管理係

_	務事業 02288	开区画整理事業慎償返事務(フ	ע נייז)		上段:目標	値 下段:実績値
	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成	31年度
7 7						
<u> </u>	カテゴリ	評価の観点		基準		ランク
	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサ	 ービスを行っていない		
		完性		ービスは不十分で、市で補完する	3必要がある	4
1			3 国・県・民間等が同	様のサービスを行っている		
-						
	<u>_</u> .					
	理由	事業において借り入れした		+ 7		
	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分に 2 社会情勢の変化等に	<u>ある</u> より市民ニーズは低下している	———	
			3 市民ニーズはない又			2
2			3 10 K = X18/8V 1X	ix 1 元 C の S		O
	理由	事業を進める上で必要な事	 ■務です。			
	有効性	目標に対する進捗状況		標どおりの進捗である		
			2 目標を下回る進捗状	況である		
3			3 進捗はかなり遅れて	いる		
	L					
	<u>理由</u> 効率性	 事業の効率化・事業費		75-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1		
	XJ 举注	事業の効率化・事業員 の削減		<u>務改善に取り組み、具体的な成</u> 身 務改善に取り組んでいる	きを上げている	_
		1	2 717 5 727 17 17 18	務改善に取り組んでいる 務改善にあまり取り組めていない	1	1
4			J PRIMORNICP	が以音にめなり取り温めていない	<u>'</u>	
		借入先金融機関は入札によ	 こり決定しています。			
	公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体	———— 等と比較して適正である。		
		準		等と比較してあまり適正でない。		1
5			3 環境変化や他自治体	等と比較して適正でない。		
	TIII de	# \ # \ \= \ \= \ \				
r	<u>理由</u> I 次評価結果】	借入先金融機関は入札によ	い犬正していまず。			
	「 <u> </u>	維持・継続				
	未以刀凹注		留地処分による収支が可能と	なるまでの財源不足を補う「つれ		で新
			より多くの保留地を処分でき		осяш, суо	21 071
1 2	欠コメント					
(400文字)					
_	○ 冷証(無(土中 🖥					
	2 次評価結果】	如佛土中恢				
手	業の方向性 ニューニー	評価未実施 本事業においては、2次部	☑価を宝施していません			
		一字未に切りには、4 次計	叫 4 大ル 0 ていみ 6 70。			
2	欠コメント					
	400文字)					
`	,					

1 頁 令和元年 8月16日 18時46分43秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価

所属 0001404020 区画整理課工務係 事務事業 02285 桜井施設整備事業 所属長名香村正志担当者辰田謙一郎電話番号0566-71-2246

【基本情報】

<u>【 </u>					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	003 経済				
項目(施策)	004 10都市基盤(市街地)			
施策の方針	005 地域拠点(名鉄	桜井駅周辺)の整備	抗促進		
事務事業	004 桜井施設整備事	 業			
事業期間	平成11年度 ~ 令和 6年度	26 年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	桜井区画整理特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	定住・移住促進
根拠法令等	土地区画整理法、大都市法	、市条例(施行規程	₹)		
備考					

【事業分析】

_【争美为们】	
対象	桜井駅周辺地域の土地利用が
目的	利用増進することができるようになります。
手段	土地区画整理事業により、本市南部の地域拠点として位置付けられた桜井駅周辺の都市基盤整備を行い、安全で 快適な住環境を備えた市街地を創出します。
事務内容	桜井区画整理事業の工事に関する計画・施行管理、工事設計及び測量等の事務

【コスト】 (単位:千円) Tuto(ケウ Tuto(ケウ Tuto)(ケウ Tuto(ケウ Tuto)(ケウ Tuto)(ケウ Tuto(ケウ Tuto)(ケウ Tuto)(ケウ

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
		決算額	決算額	予算額
トータル	コスト	439,402	640,988	658,607
事業	費	404,752	605,708	623,327
	国庫支出金	116,472	210,217	211,795
اِ	是支出金	450	12,465	5,242
t	也方債	33,390	0	0
	その他	123,889	182,833	192,263
	一般財源	130,551	200,193	214,027
人件!	費計	34,650	35,280	35,280
<u> </u>	E規(人)	5.50	5.60	5.60
その他経	費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	(実績)	(実績)	(計画)
	道路築造整備延長	道路築造整備延長	道路築造整備延長
	L=1947.9m	L=890.9m	L=1476.0m
	排水路築造整備延長	排水路築造整備延長	排水路築造整備延長
	L=134m	L=178m	L=345m
	整地整備面積	整地整備面積	整地整備面積
	A=21,151㎡	A=22,262m	A=19,600㎡

2百 令和元年 8月16日 18時46分43秒

評価年度 平成30年度 2 次評価 進捗区分

0001404020 区画整理課工務係 所属 事務事業 02285 桜井施設整備事業

【定量評価】 上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
道路築造率(道路築造 済延長÷道路総延長×	%	85.30	89.60	93.90
100)	70	84.50	88.40	0.00

【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 必要性 国・県・民間等との補 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている 1 事業計画で安城市が施行者に定められています。 理由 必要性 市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である 2 工事等を行い基盤整備をすることで土地利用が図られています。 理由 有効性 目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている 3 道路築造率が88%を超え沿道の土地利用が進んでいます。 理由 事業の効率化・事業費 効率性 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている の削減 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない 4 理由 -般競争入札で競争性を高めコスト縮減に努めています。 事業規模・サービス水 公平性 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。 3 5 現在の構造規格に合わせ施工している

理由

【 1 次評価結果 】	
事業の方向性	維持・継続
	都市基盤が整備されるに従い住宅地の需要が高まり人口増加しているため、事業を継続してく必要があります。
	ただし、整備箇所が既存住宅地に取り掛かっているため、事業進捗の遅延が懸念されますが、効率的・効果的に
	事業運営を行い、早期完成を目指します。
1 次コメント	
(400文字)	
1	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

1頁 令和元年 8月16日 18時48分15秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001404060 区画整理課桜井換地係

02286 桜井換地事業

所属長名 香村正志 担当者 鈴木昭雄 電話番号 0566-71-2261

事務事業 【基本情報】

【至午月刊】					
計画次数	02 第8次安城市総	画信合			
5 Kの分類	003 経済				
項目(施策)	004 10都市基盤(市街地)			
施策の方針	005 地域拠点(名鈖	 	请促進		
事務事業	003 桜井換地事業				
事業期間	平成11年度 ~ 令和 6年度	26 年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	桜井区画整理特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	定住・移住促進
根拠法令等	土地区画整理法、大都市法	、市条例(施行規科	量)		
 備考					
Mars					

【事業分析】

【争美分析】	
対象	桜井駅周辺の土地が
目的	利用増進することができるようになります。
手段	土地区画整理事業により、本市南部の地域拠点として位置付けされた桜井駅周辺の都市基盤整備を行い、安全で 快適な住環境を備えた市街地を創出します。
事務内容	桜井区画整理事業の換地に関する仮換地指定、使用収益開始、証明書発行、建物移転補償、保留地分譲、審議会 ・評価員会の開催等の事務

【コスト】
<td rowspan="2" color="2" color=

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		1,505,684	1,243,089	1,370,086
事業費		1,428,824	1,243,089	1,306,456
	国庫支出金	598,082	272,721	440,600
	県支出金	0	19,765	11,475
	地方債	1,610	0	0
	その他	508,636	532,067	511,426
	一般財源	320,496	418,536	342,955
人	件費計	76,860	0	63,630
	正規(人)	12.20	0.00	10.10
その他	2経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	(実績)	(実績)	(計画)
	建物移転戸数	建物移転戸数	建物移転戸数
	34戸	21戸	22戸
	使用収益開始面積	使用収益開始面積	使用収益開始面積
	44,890㎡	42,508㎡	50,000㎡
	保留地処分面積	保留地処分面積	保留地処分面積
	4,662㎡	4,985㎡	6,222㎡

2頁 令和元年 8月16日 18時48分15秒

上段:目標值 下段:実績値

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価 所属 0001404060 区画整理課桜井換地係

事務事業 02286 桜井換地事業

事務事業 02200 校 【定量評価】

指標名 単位 平成29年度 平成30年度 平成31年度 家屋移転率(移転戸数 ÷総戸数(462戸) 87.90 93.50 % 88.30 92.90 0.00 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 必要性 国・県・民間等との補 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている 1 事業計画で安城市が施行者に定められています。 理由 必要性 市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である 2 移転等を進め基盤整備をすることで、土地利用が図られています。 理由 有効性 目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている 3 理由 家屋移転率が90%を超え、 換地先の土地利用が進んでいます。 事業の効率化・事業費 効率性 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない 3 4 理由 仮換地変更などにより事業進捗の推進に努めています。 事業規模・サービス水 公平性 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。 5 補償費算定基準等は統一のため、サービス水準の差はありません。 理由 【1次評価結果】 維持・継続 事業の方向性 都市基盤が整備されるに従い、住宅地の需要が高まり人口が増加しているため、事業を継続していく必要があり ます。ただし、整備箇所は残り少ないが、既存住宅地の整備に取り掛かっているため事業進捗の遅延が懸念され るため、効果的・効率的な事業運営を行い、早期完成を目指してまいります。 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 事業の方向性 評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。 2次コメント (400文字)